interview | 柴倉 樹（みき）さん　今田 知佐子（ちさこ）さん

毎号リレー形式で江田島市内で活躍する人やお店を紹介！

ETAJIMA GoON!
エタジマゴーオン

みんなの『未来の種』になれば嬉しい。

Vol.21

大柿町・沖美町

チーム「おいでよ江田島」

昨年11月、大柿高校の文化祭で初披露され、メディアにも取り上げられた曲「おいでよ江田島」。今回は曲ができるまでの過程やプロジェクトへの思いを、企画者のシンガーソングライター・柴倉樹（しばくら・みき）さんと、CDジャケットを制作したアーティスト・今田知佐子さんにお話を伺いました。

「行動と実現」を体感してもらうために

このプロジェクトが始まったのは昨年5月、大柿高校から樹さんがPTAによる講演会で話をしてほしいという依頼を受けたことがきっかけだった。「話をいただいた時、せっかくだったらただ話すだけの講演会ではなく、生徒たちの言葉を集めた歌を作りたいという提案を学校にさせてもらったんです。そこから現在の2年生である生徒会が中心になってアンケート形式で言葉を集めてくれて、集まった言葉を受けて、私が曲を作りました」

メロディーは樹さん、歌詞は生徒たちという共作プロジェクト。完成してからは、文化祭でのお披露目に向けて、生徒たちが毎日曲を聴き、練習してくれたという。「実は、初めて生徒たちと会ったのは初披露の日なんですよ！文化祭で歌詞を作ってくれたみんなと会って、私が歌を始めたきっかけや、どのようにしてシンガーになるという夢を叶えたのかという話をさせてもらい、やっと講師らしいことができました（笑）」

最初は、なぜ樹さんが江田島市にいて歌を歌っているのかを話してほしいという依頼だった。話を聞いた生徒たちが、これから社会に巣立っていく上で何らかの活力になればという先生たちの思いを聞き、樹さんは自分の話をするだけでは生徒たちには思いが届かないのではと思った。「私は曲作りを学ぶ専門の学校に行ったわけじゃない。でも、自分はこうするんだと決めて動けば、何でもできるんだよということを生徒たちに知ってほしかったんですよね。だから、江田島市をテーマにした曲を作って、自分たちの言葉が歌になると

いう『行動と実現』を体感してもらいたかったんです」

完成後、曲を聴いた生徒たちからは「私の歌詞だ！」「言葉が使われてる」「嬉しいね」などといった、さまざまな反応があった。その姿を見て、樹さんは、このプロジェクト自体が自分自身の活力になったと思ったと話す。「私が講師としてお願いされた立場ではありますが、お互い良い効果が出たというか。私自身、お世話になっている方々にも恩返しの気持ちが歌を通して表現できたし、生徒たちから吸収する部分もものすごく大きかったんです。プロジェクトに関わってくださったすべての方々に感謝しています」

「おいでよ江田島」を“未来の種”に

曲の完成後、みんなの思いが詰まったこの曲をより多くの人に聞いてもらうため、おいでよ江田島のCDを制作することになった。そこでCDジャケットの制作を担当したのが、沖美町出身で、国内外で活動するアーティストの今田さんだった。

「歌詞を見た時、すぐに思ったのが、ジャケットはみんなで作るべきだということ。私の思いだけを乗せたデザインをするのに違和感を感じたんです。これは、企画した学校の先生や樹さんの思い、生徒たちの声、島に対する思い、さまざまな人たちの声と思いが詰まったものですし。それに、このプロジェクトがゆくゆくは江田島市の魅力発信につながればいいなと感じたので、市民の方々にも参加してもらう形でデザインを作ることにしたんです」

ワークショップ講師としても多くの経験を積む今田さんのアイデアで、12月にはペイントイベントを開催した。テーマは『自分の手で未来を創る』。中心には大柿高校生たちの手形によるペイントを、背景に市民の方思い思いの丸を描いてもらい、みんなの“未来の種”を表現した。

「未来を創るのは自分たちのアクション次第、という強い思いを込めてデザインしました。プロジェクト自体が未来の種。小さなことかもしれないけど、このプロジェクトに関わったことで変わる未来もあると私は思います。生徒たちや若い世代の人たちには、私たちみたいな、いわゆる普通の社会人ではないような生き方をする人たちの姿を見て、自分の未来の選択肢の幅も広げてくれれば嬉しい。私は、単純だけど、行動さえすれば何でもできるということを伝えたいんです。今回。プロジェクトにアーティストとして参加させてもらって楽しかったし、ありがたかった！ここからどんな未来が生まれるのか、今からとても楽しみですね」

今後は、3月のCD発売に向けてミュージックビデオの撮影やライブなどを予定していると笑顔で話す樹さん。「この活動を通して、改めて歌が好きだということも感じることができました。今度はこの曲を聴いた人が、何か気持ちの変化があったり、島をもっと好きになったりしたら嬉しいですね」

現在、大柿高校や市内の小学校では昼休憩の際に「おいでよ江田島」が流れている。歌詞には『私もこの島も成長していく　未来を楽しみに歩んでいく』というフレーズがあるが、この曲を毎日のように聞いている子どもたちは何を思うのか。2人の言う『未来の種』が花開くことを私も楽しみに待ちたいと思う。

INFORMATION

おいでよ江田島

爽やかな風が吹き　澄んだ空気と漂う潮の香り
穏やかな波のように　おおらかで優しい町と人
学校の先生も　牡蠣屋のおじちゃんも
みんなみんな顔見知り
みかん畑のおばちゃんも　オリーブのお兄さんも
どこかでみんな繋がってる

おいでよ江田島　海、山、青空に囲まれた島
いつでも帰ってきんさい
みんな家族のような江田島
自然とひとつになる江田島
この島が大好きさ江田島

帰れる場所があるのさ　何にも変えられない宝物
どこまでも続く空　この景色がずっと在ってほしい
私もこの島も　成長していく
未来を楽しみに歩んでいく
茜色の夕焼け　藍色に染まる
今日という日にありがとう

おいでよ江田島　海、山、青空に囲まれた島
いつでも帰ってきんさい
みんな家族のような江田島　みんなの故郷さ江田島

おいでよ江田島　海、山、青空に囲まれた島
いつでも帰ってきんさい
みんな家族のような江田島　みんなの故郷さ江田島
みんなの故郷さ江田島

発売日は2023年3月1日㈬予定。最新情報についてはシンガー樹のインスタグラムをご覧ください♪

@singer_miki